

安全・安心に資する科学技術の推進

平成19年度 予算額：170億円（平成18年度 予算額）：178億円 ※運営費交付金中の推計額を含む

第3期科学技術基本計画を踏まえた基本的な考え方

- 「社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術」の実現
- 経済的価値に加え、安全・安心な社会の構築への貢献など社会的価値の創出を目指し、研究開発の成果を通じたイノベーションを実現

安全・安心科学技術プロジェクト

平成19年度 予算額：4億円

重要研究開発課題の研究開発を進めることにより、国家安全保障、国民生活の安全確保への貢献を目指す。またこの取り組みを通じ、安全・安心に資する科学技術推進のための根拠の整備、関連研究者等のネットワークの構築を図る。

危機事態別・分野別の研究開発の推進

平成19年度 予算額：165億円

総合科学技術会議「安全に資する科学技術推進戦略」等を踏まえた、危機事態別*・分野別の研究開発の推進

重大事故

- ・国産旅客機などに関する航空科学技術の研究開発
- うち運航安全・環境保全技術の研究開発

5億円

新興・再興感染症

- ・社会のニーズを踏まえたライフサイエンス分野の研究開発
- うち新興・再興感染症研究拠点形成プログラム

28億円

大規模自然災害

- ・首都直下地震防災・減災特別プロジェクト14億円
- ・地震・津波観測・監視システム 15億円
- ・地震調査研究推進 6億円

情報セキュリティ

- ・e-society基盤ソフトウェアの総合開発

7億円

食品安全問題

- ・遺伝子組み換え作物の安全性評価のためのメタボローム解析研究

0.6億円

テロリズム

- ・安全・安心のための先端センサー技術開発費
- うちナノ加工薄膜を用いた高感度毒ガス検知装置

の開発 0.6億円

各種犯罪

H19年度予算額

※総合科学技術会議「安全に資する科学技術推進戦略」で対象としている7つの危機事態：大規模自然災害、重大事故、新興・再興感染症、食品安全問題、情報セキュリティ、テロリズム、各種犯罪